

平成20年度 職員提案(一般・課題提案採用分) 提案数11件 採用3件

提案名	提案内容	現状・問題点	効 果
杖ホルダーの設置	高齢者・障害者の来庁（市の施設すべて）が想定されるカウンターおよびトイレのすべてに杖ホルダーの設置（事例、設置場所等の詳細は別紙資料）	杖をお持ちの来庁の方が、窓口で申請書を記入したり、お話をしたりする際にお持ちの杖を倒さずに保持しておくところがない バランス良く一時置けたとしても、倒れてしまうこともあり、来庁者の方も、対応職員も気まずい思いをする。また、杖は杖利用者にとっては体の一部である。その杖が倒れる、すぐ手の届かないところで保管されるでは不快な思いをされるのではと推測できる	「市民の立場に立った、分かりやすく親しみのあるサービス提供」 ・利用者が安心して窓口（トイレ等）を利用、 ・市民の目線に立ったサービス提供をアピール、 ・サービス業としての自覚を職員に与える 「軽経費、多方面に波及する効果」 ・大量購入により購入コスト（単価）圧縮、 ・経費面においても十分効果を得ることができる 民間サービス業に負けない利用者サービス（イメージアップ・設置に伴う利用実績・設置後の保守管理維持経費）
ICレコーダーおよびデジタルカメラ等の集中管理	ICレコーダーおよびデジタルカメラ等について、各課で購入・管理しているものを集中管理を行なうことにより有効活用を図ろうとするものである	①ICレコーダー・デジタルカメラ等は、各課で購入・管理しているが、使用頻度は高いとはいえ、ロッカーで眠っている時間が多い（利用が年数回程度の場合もある） ②会議等の録音にカセットレコーダーの場合もあり、会議録等の作成が非効率的（どこかの課でICレコーダーが眠っているはず） ③備品無い時、私物利用の実態あり、公務上の使用であることやデータ取り込み上からも好ましくない ④情報セキュリティー上、録音・画像データ等の取り込みに注意を払っているが、機材の集中管理によりさらに安全度を高める必要がある	①備品の有効活用が可能となり、備品数も抑えられる。 ②私物からのデータ取り込みによる危険の排除（私的録音・画像） ③経費ゼロ（担当課の管理事務のみ） ④カセットレコーダー利用による非効率的な事務の改善 ⑤使用後の機材に情報を長時間残すことがなくなり、情報セキュリティー上からも好ましい
ペットボトルキャップ回収	自立センターにおいて行っているペットボトルキャップ回収をセンタービル、障害者福祉課および高齢介護課で行っている。ペットボトルキャップは400個で10円分になり、800個でポリオワクチン1人分（20円）となる。ぜひ全庁的に行いたい	分別されない場合、ごみとして焼却すると400個で3,150gのCO2を排出することとなる	全庁的に行うことにより、小さなことではあるが世界の子どもの命が救えると考え、ぜひ実施したい。また、庁舎内だけでなく、自宅に戻った場合、自宅でも環境に対する意識改革ができると思う